

捨

六年 画数 11
筆順 ㇀ ㇁ ㇂ ㇃ ㇄ ㇅ ㇆ ㇇ ㇈ ㇉ ㇊
オン シヤ
クン すりてる

成り立ち



釈(とき放つこと)の意味をかりた「舎」と、手の意味の「扌」とを組み合わせて作った字です。

「手から物をとき放つ」という意味の字です。

「手放す」ことから、物を「すてる」という意味に使われています。

使い方

▼わたしの母は、「今はいらなと思うつまらない物でも、三年たてば役に立つ」と言って、私が捨てたら良いのと思うつまらない物でも、大事そうにしまっておきます。

▼九百八十四を、一の位で四捨五入すれば九百八十ですが、十の位で四捨五入すれば一千になります。

熟語例

▼捨て身(命を捨てる覚悟で行動すること。例捨て身でしたらできない事は無い。)

▼捨て値(まるでただみたいな安い値段。損得を無視した安い値段のことです。)

▼捨て石(囲碁で、取られることを承知で打つ石のこと。捨てるつもりで打つ石。その石は取られても、その代わり、それ以上の利益を得るといふ策略です。それで「他日の利益のためにする予備行為」のことを「捨て石」と言います。)

▼取捨(取ることと捨てること。取るか捨てるか。例取捨選択)

▼喜捨(喜び進んで寄附やほどこしをすること。)

尺

六年 画数 4
筆順 ㇀ ㇁ ㇂ ㇃
オン シヤク
クン

成り立ち



親ゆびを支点にして、他の四本のゆびをいっばいにのばし、「長さをはかる」形を表した字です。

昔は、ものさしが無かったので、長さを測るのには、このように手を使って測りました。この長さを「尺」と言います。一尺の十分の一を「寸(年930)」と言い、一尺の十倍を「丈」と言います。

長さの単位であるところから、「長さを測る物(物さし)」のことに使われます。例巻尺、尺度。

また、「物の基準」の意味にも使われます。例尺度。

使い方

▼同じ一尺と言っても、時代により、所により、使い方によって、長さが異なっていたそうです。短いものは約十八センチメートルで、長いものは約三十八センチメートルもあったそうです。わが国では、ふつう約三十・三センチメートルの尺が使われていましたが、裁縫には、長い約三十七・八センチメートルの鯨尺が使われました。

熟語例

▼尺貫法(長さは尺、重さは貫、体積は升という単位で測り方で、メートル法が採用されるまで長い間使われていました。)

▼鯨尺(布を測るのに使われた物さし。この一尺(二七・八cm)がふつうの一尺二寸五分に当たります。長いので鯨尺と言いました。)

▼尺八(竹製の笛の名前。長さが一尺八寸あるので、この名前がつけました。)

▼尺度(物さしのこと。また、「物事の基準」の意味)

▼縮尺(地図に使われる物さしで、これで地図を測れば、実際の距離を知ることができます。)